

■ 育成センター意見交換会

1. 育成センターへの認識を深める：説明
2. 各府県の育成センター準備状況を確認する：各府県発表
3. 現状の課題の把握：質疑

■ 指導者講習会

1. コーチングについて：暴力/暴言のないコーチング 他
2. タレントスカウティング
3. マルフアン症候群の理解
4. スポーツパフォーマンス

Why?

なぜ育成事業の改革が必要なのか？

世界に通用するバスケットボール強化

世界基準を日常に取り入れる

世界を目指す環境

世界を視野に入れた指導を日常から行う



国内で活気あるバスケットボール普及

バスケットボール愛好者を増やす
バスケットボールを楽しめる！上手になる！
日本代表が強い！応援する！



■ 育成世代における問題

- ・ 系統的でない指導
- ・ 過剰な競争
- ・ 練習が少ない
- ・ 大人と同じ競技スケジュール
- ・ 大人と同じトレーニングプログラム
- ・ 大人と同じ練習量
- ・ 男子と女子の年代におけるトレーニング内容が同じ
(発達は女子が早い)
- ・ 過程（取り組み方）より結果（勝敗）に焦点がある
- ・ 精神的に未熟な選手への過度の要求
- ・ 保護者のクレーム、結果が大切という価値観

■育成方針(育成世代で重要視すべき考え方)

- ・年代毎(習熟別) に練習内容を変える (技術・戦術練習の割合、量・質)
- ・ゲームを多く経験すること→トーナメントではなくリーグ文化
- ・バスケットを楽しませて将来に繋げる
- ・トライ&エラーをさせる
- ・技術を学ぶ年代 = 認知判断を伴う技術練習を多く、戦術練習の割合
- ・能力別 (飛び級) の環境 = 育成センターU12/U14/U16
- ・世界を目指した指導 = 誰もがオールラウンドプレイヤーを目指す
- ・年代別指導 (ラーニングエイジ) = 習熟度別に、易→難
- ・勝利至上でない = 勝利のとらえ方 = 結果だけではなく過程に焦点を当てる
- ・障害を引き起こさない, バーンアウトさせない
- ・LTAD (長期選手育成理論) を考慮
- ・人間教育、人格形成 = 人間力向上なくして競技力向上なし
- ・保護者教育 = 家庭でも選手がポジティブに成長 (栄養・精神的サポート)
- ・スポーツ医学の利用

育成世代の選手にこれらを経験させていく環境づくり

↓ 実行していけば

将来は質の違ったプレイヤーが育成される

育成センター事業 (Development Center= DC)

- 我々の世代が改革を担う
- 育成でも世界一を目指す
- 次世代が希望を持てる様に整えて、将来に渡す

- 質の高い競争(育成)・・・個の育成
最低でも2年カテゴリー U12/U14/U16
 - 情報伝達(指導者教育)
ジャパンスウェイ、育成世代コーチング
 - 能力に応じた競争(発掘)
天井効果排除
- ※地区⇒県⇒ブロック⇒ナショナルに繋がる発掘
(アスリートパスウェイ)

1. 指導理念

- **オールラウンダーの育成**: ポジション固定をせず、ファンダメンタルを身につける
- **人格形成**: バスケットだけという価値観にしない

2. 実施回数・頻度

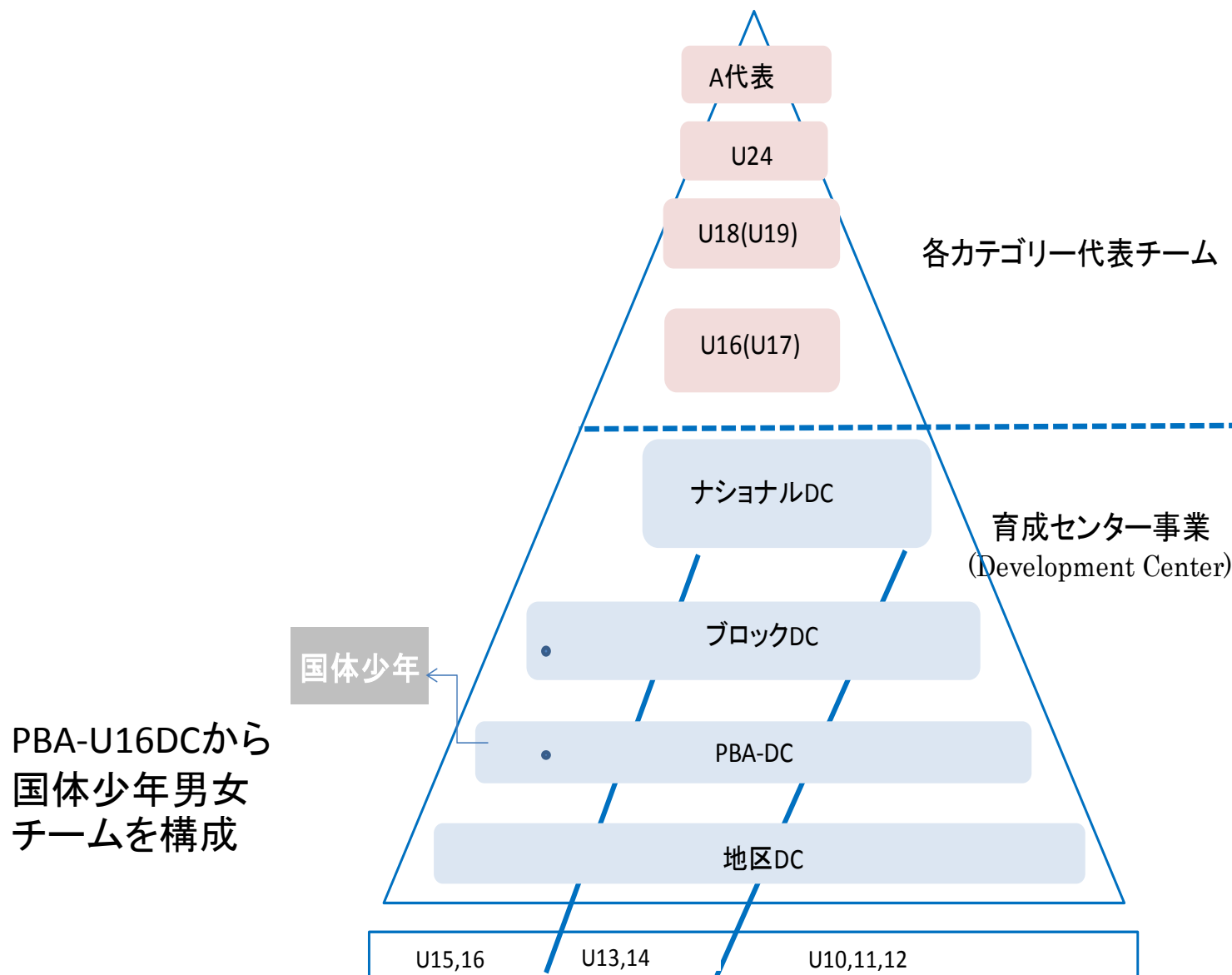
- **少なくしないこと**

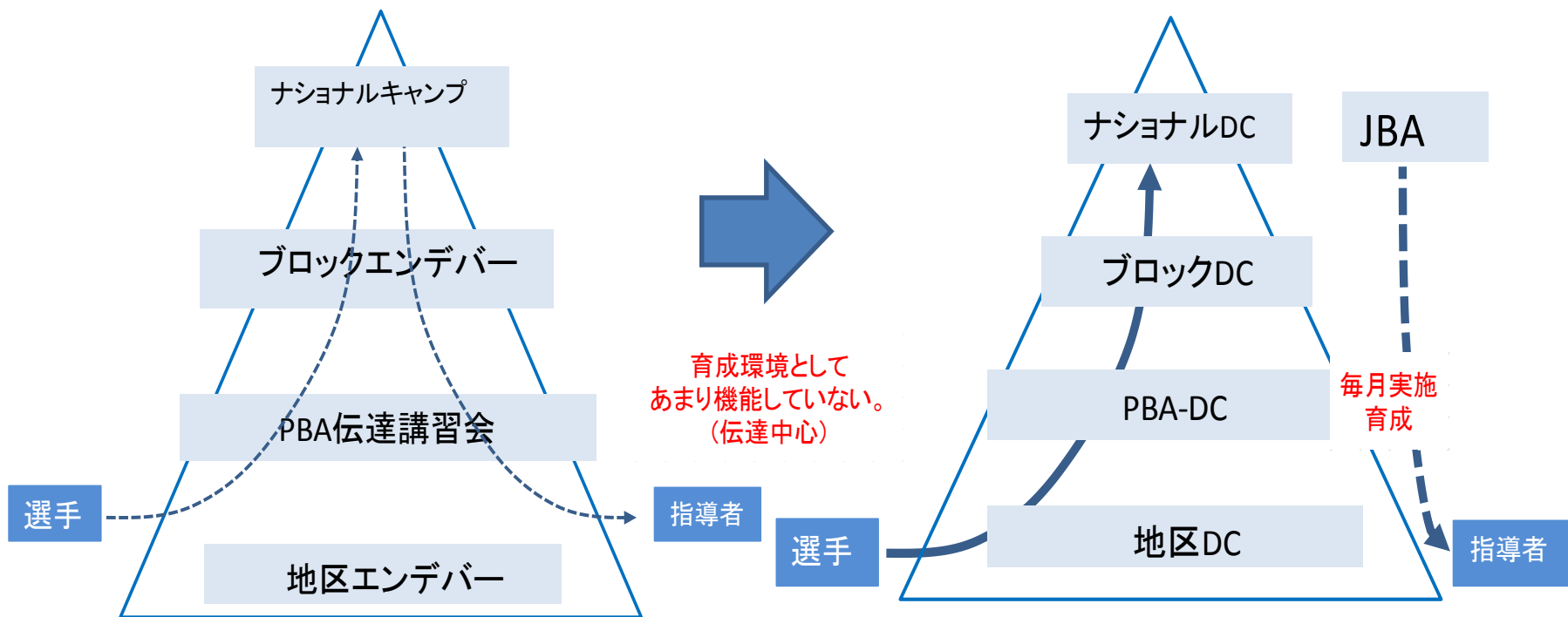
3. 指導方法・指導内容

- **指導理念を達成するもの、育成世代に沿ったもの**
- **勝つためのチーム練習としないこと**
- **参加者全員に機会**を与え、特定の者だけに多くの機会を与えるなどは行わないこと
- **特定の戦術練習**の時間を多く取らないこと

4. その他

- **リクルート**の場としないこと





- ナショナル育成キャンプーブロックエンデバーー都道府県エンデバーー地区エンデバーの統合
- 都道府県・地区における育成環境整備

- 2018年度準備年度
-実施可能なところは実施
- 2019年度完全実施を目指す



ユース育成委員会										
委員長: PBAユース育成マネージャー ●●●●●										
U12PBA				U15PBA				U18PBA		
コーチ		マネージャー	コーチ		マネージャー	コーチ		マネージャー		
男子	女子		男子	女子		男子	女子			
県	○○○	△△△	□□□	○○○	△△△	□□□	○○○	△△△	□□□	PBA任命
地区A										PBA任命
地区B										PBA任命
地区C										PBA任命

事業運営担当部門は現状のユース育成組織を移行させる

アンダーカテゴリー部会									
組織長: ●●●●●									
U12部会			U15部会				U18部会		
U12部会長			U15部会長				U18部会長		
ミニ連盟	ユース育成M		中体連	中学生連盟	クラブ/Bクラブ	ユース育成M	高体連	クラブ	ユース育成M

※U15部会・U12部会にマンツーマン推進を置く。PBAマンツーマンディレクターも含める(2017現在)

PBAにおける競技会(大会)運営等を担当する

■ 都道府県内にユース育成関連で2つの組織を作る

- 1) ユース育成委員会 : 育成センター事業担当
- 2) アンダーカテゴリー部会 : リーグ戦・大会運営担当

<U15アンダーカテゴリー部会構成員（例）>

役職	氏名	備考
部会長		
副部会長		
U14ユース育成M		
マンツーマンディレクター		
競技担当		
審判担当		
財務担当		
運営担当		
運営担当		
地区担当		
地区担当		

<構成員としての例>

構成員
中学生連盟
中体連
Bリーグクラブ
町クラブ
スクール
U15ユース育成マネージャー
マンツーマンディレクター

<役職の所管事項>

部会長・副部会長	全体統括、委員会招集と運営、全体スケジュール策定、カテゴリー別事業計画（開催要項）、 交付金申請集約・精査渉外、（JBA/専務理事会/各種連盟/ブロック協会）、情報展開
競技担当	カテゴリー別競技規則策定、競技運営ルール、競技運営に関わる各カテゴリーとの連絡調整
審判担当	帯同審判制の策定（ニュートラル審判依頼制度の検討）、審判運営に関わる各カテゴリーとの連絡調整
財務担当	交付金申請の集約・精査、JBA申請手続き業務全般、県リーグ運営に関わる会計全般、競技運営部会計との連絡調整
運営担当	リーグ編成の策定、カテゴリー別リーグ戦の運勢主管（運営責任者の選定）、カテゴリー別事業計画（開催要項） 交付金申請書の作成/提出、スケジュール策定、会場策定、関係団体及びチームへの説明及び連絡調整
地区担当	カテゴリー別リーグ戦の運営主管、県および地区リーグの会場調整、地区内市町村協会との連絡調整 ブロック内審判員の確保